

第17回定期総会



海老名災害ボランティアネットワーク

<http://www.ebina-saibora.net>

日 時／平成30年4月14日（土）PM2：00より

会 場／海老名市総合福祉会館1階 元気ひろば

第17回定期総会

式次第

日 時／平成30年4月14日（土） PM 2：00より

会 場／海老名市立総合福祉会館1階 元気ひろば

1. 開会の言葉
2. 代表あいさつ
3. 来賓あいさつ
4. 議長及び書記の選出
5. 議 事
 - 第1号議案 平成29年度事業報告 3・4頁
 - 第2号議案 平成29年度収支決算報告
会計監査報告 5頁
 - 第3号議案 平成30年度役員選出(案) 6頁
 - 新役員紹介
新会長挨拶
新役員紹介
 - 第4号議案 平成30年度事業計画(案) 7頁
 - 第5号議案 平成30年度予算(案) 8頁
6. その他
7. 閉会の言葉

以上

(第1号議案)

平成29年度 事業報告(1/2)

(平成29年4月～平成30年3月)

海老名災害ボランティアネットワークは、

- ① 災害発生時における、災害ボランティアコーディネーターの育成、ならびに災害ボランティアコーディネーターとしての活動組織の構築、
- ② 災害発生時の救援活動に必要と認められる団体やボランティア及び、行政等諸機関との連携を図り、相互に助け合う市民社会の形成を目指すことを目的に規約第3条に基づき次頁に記す事業を行った。

(参考)

- 第 3条 ネットワークは前条の目的を達成するため、次の活動を行う。
- (1) 災害発生時のネットワークの活動拠点ならびに活動組織等の体制の整備
 - (2) 災害発生時を想定した各種模擬訓練
 - (3) 必要と認められる各種講習会等の開催。
 - (4) 各種団体ならびに行政等諸機関との交流、情報交換。
 - (5) 広報、啓発活動。
 - (6) その他、目的達成のため必要と認められる事項。

平成29年度 事業報告(2/2)

期間:平成29年4月1日～平成30年3月31日

月	日	曜日	内 容	会 場	参加人員
4	4	月	会計監査開催	市立総合福祉会館	5名
	10	月	イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン	イオン	1名
	11	火	イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン	イオン	2名
	15	土	イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン贈呈式	イオン	1名
	15	土	第16回 総会開催	市立総合福祉会館	16名
5	2	火	ふくし教室説明会	市立総合福祉会館	2名
	11	水	イオン幸せの黄色いレシートキャンペーンPR活動	イオン	3名
6	1	日	ネットワークだより30号発行	自治会回覧	---
	6	火	神奈川災害ボランティアネットワーク総会	かながわ県民サポートセンター	1名
	11	土	イオン幸せのレシートキャンペーン	イオン	2名
	28	水	福祉教室	東柏ヶ谷小学校	2名
7	11	火	イオン幸せの黄色いレシートキャンペーンPR活動	イオン	3名
	16	日	サンパルク650自治会役員対象防災訓練	サンパルク650自治会館	15名
	22	土	サンパルク650自治会員対象防災訓練	サンパルク650自治会館	45名
8	5	土	三館フェスタ	市立総合福祉会館	6名
	19	土	小田原社協・県災ボラ共催「図上訓練」	小田原県合同庁舎	3名
9	1	金	ビックレスキュー神奈川小田原会場	小田原	5名
	11	月	イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン参加 えびな南カフェ(災害時のトイレ、紙コップの作り方)	イオン 海老名南地域包括センター	4名 2名
	15	金	「ビックレスキューかながわ」県災ボラとしての総括	かながわ県民サポートセンター	2名
	24	日	体験型講座;減災・災害対応訓練	市立総合福祉会館	31名
10	7	土	海老名安全・安心フェスティバルwith扇町防災フェスタ	海老名駅西口広場	2名
	11	水	イオン幸せの黄色いレシートキャンペーンPR活動	イオン	4名
	19	木	ネットワークだより31号印刷	市立総合福祉会館	4名
	23	月	東柏ヶ谷1・2丁目自治会防災訓練打合せ	柏ヶ谷コミセン	3名
11	1	火	ネットワークだより31号発行	自治会回覧	---
	11	土	イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン参加	イオン	2名
	25	土	東柏ヶ谷1・2丁目自治会防災訓練	東柏ヶ谷第1児童公園	100名
	26	日	第8回海老名ふれあい農業まつり初出店	海老名グリーンセンター	4名
12	11	月	イオン幸せの黄色いレシートPR活動参加	イオン	2名
	17	日	海老名コーポラス団地防災委員会主催自主防災訓練	コーポラス団地	120名
1	11	木	イオン幸せの黄色いレシートPR活動参加	イオン	2名
	20	土	市防災講演会参加	市役所	4名
	31	水	熊本地震の教訓とICTの利用を生かす勉強会	伊勢原シティープラザ	1名
2	11	日	イオン幸せの黄色いレシートPR活動参加	イオン	3名
	17	土	災害救援ボランティアコーディネーター養成講座	市立総合福祉会館	43名
	19	月	市防災会議	市役所	1名
	24	土	災害救援ボランティアコーディネーター養成講座	市立総合福祉会館	39名
3	7	火	県災害救援支援センター開設訓練	かながわ県民センター	1名

上記以外

海老名災害ボランティアネットワーク関係

定例会 12回:5/12,6/9,7/6,8/3,9/7,10/5,11/2,12/2,1/11,2/1,3/1

市・社協・災ボラ会議 10回:4/7, 5/16,6/16,7/4,9/6,10/16,11/13,1/22,2/9,3/5

神奈川災害ボランティアネットワーク関係

理事会 7回; 4/11,6/6,7/25,8/29,3/27,

・運営委員会、拡大運営委員会 8回;4/25,5/8,・8/29,・10/24,・11/28,12/26,・2/27

図上訓練委員会 5回; 9/22,12/19,1/31,2/14,3/12

委員長会議 1回; 7/26,

(第2号議案)

平成29年度 海老名災害ボランティアネットワーク収支決算書

(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

(収入の部)

(単位：円)

科目	予算額(A)	決算額(B)	増減額 (B-A△)	備考
1 会費収入	82,000	80,000	△ 2,000	
(個人会員)	50,000	44,000	△ 6,000	2,000× 22口 (22名)
(賛助会員)	20,000	27,000	7,000	1,000× 27口 (15名)
(団体会員)	12,000	9,000	△ 3,000	3,000× 3口 (3団体)
2 事業収入	20,000	10,000	△ 10,000	福祉教室講師謝礼
3 寄付収入	30,000	27,416	△ 2,584	イオン・ダイエー「幸せの黄色いレシート キャンペーン」他
4 雑収入	1,000	3,602	2,602	炊飯袋販売代、受取利子
5 前年度繰越金	187,004	187,004	0	
合計	320,004	308,022	△ 11,982	

(支出の部)

科目	H29年度予算(A)		決算額(B)		増減額 (B-A△減)	備考
	事業費	事務費	事業費	事務費		
1 事業費	150,000		21,410		128,590	各種講座
2 通信費		10,000		11,504	△ 1,504	はがき、切手
3 事務費		15,000		16,163	△ 1,163	封筒、コピー用紙他事務用品他
4 会議費		10,000		0	10,000	会場費
5 会費		20,000		15,000	5,000	県災ボラ、海老名社協
6 広報費	70,000		12,800		57,200	ネットワークだより印刷代(年2回)
7 交通費		15,000		3,950	11,050	市外研修会等参加
8 予備費		30,004		0	30,004	
小計	220,000	100,004	34,210	46,617	239,177	
合計		320,004		80,827	△ 239,177	

収入額 308,022 円 - 支出額 80,827 円 = 227,195 円 <次年度繰越金>

特別会計

災害救援活動費繰越金

58,000円

会計

三宅 良子

会計

野本みな子

— 会計監査報告 —

代表

橋本 賢司 殿

平成29年度(平成29年4月1日より平成30年3月31日まで)の
海老名災害ボランティアネットワーク会計について、監査結果を下記の通り報告します。

平成30年4月 3日 関係帳簿、領収書等の監査の結果相違ないことを認めます。

会計監査

永山 八郎

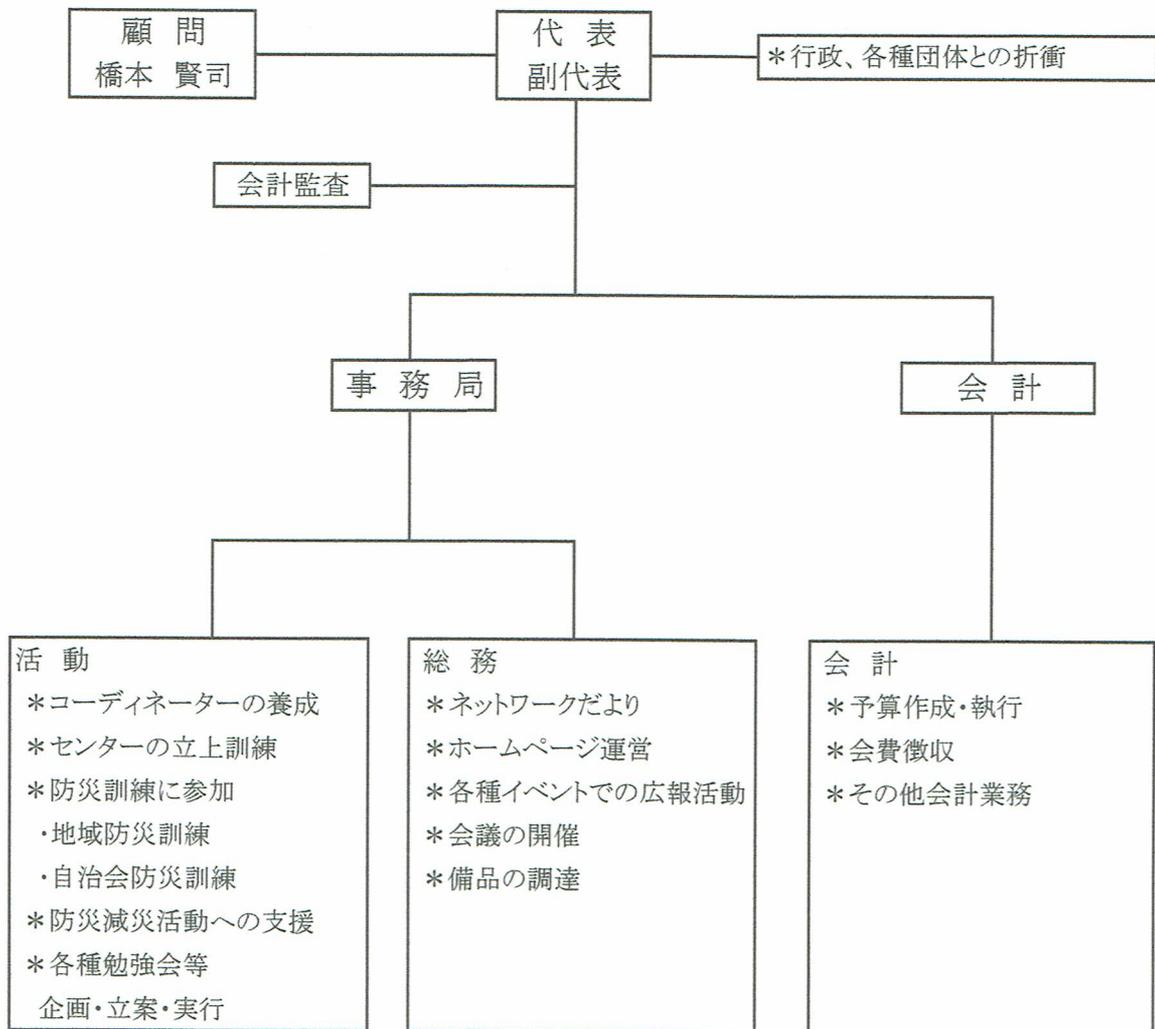
会計監査

松本 愛子

平成30年度役員(案)

代表	福田 博
副代表	水本 晶子
会計	松井 俊輔 三宅 良子
事務局	野中 義彦 舘 登志子 佐々木 茂 吉野 達志 小澤 昌平 山下 康秀 中村 敏一
会計監査	永山 八郎 野本 みな子

(組織)



- ※定例会 ネットワークの運営に関わる会議 毎月開催
- ※役員会 必要に応じて開催
- ※専門部会 必要に応じて開催

(第4号議案)

平成30年度事業計画(案)

海老名災害ボランティアネットワークは、規約第2条で「目的」を次のように定めています。

- ① 災害発生時における、災害ボランティアコーディネーターの育成、ならびに災害ボランティアコーディネーターとしての活動組織の構築。
- ② 災害発生時の救援活動に必要と認められる団体やボランティア及び、行政等諸機関との連携を図り、相互に助け合う市民社会の形成を目指す。

規約第3条では、「前条の目的を達成するため、次の活動を行う。」として次の6つの事業を示しています。

(平成30年4月～平成31年3月)

1 災害発生時のネットワークの活動拠点 ならびに活動組織等の体制の整備	① 海老名災ボラの会員拡大と組織の充実 会員間の情報共有と相互交流、事務局活動の充実 ② 災害救援ボランティアセンター・マニュアルの見直し
2 災害発生時を想定した各種模擬訓練	③ 災害救援ボランティアセンターの立上げ訓練の実施 ④ 体験型防災減災訓練の実施(災ボラ主催) ⑤ 県・市の実施する防災・減災訓練への参加・協力
3 必要と認められる各種講習会等の開催	⑥ 災害救援ボランティアコーディネーター養成講座の開催 ⑦ 各種勉強会等の開催(会員以外の方の参加も含めて)
4 各種団体ならびに行政等諸機関との 情報交換・交流等への取り組み	⑧ 海老名市・社協・災ボラの3者定例会の継続 ⑨ 自治会・各種団体主催の防災減災訓練に協力・支援 ⑩ 県災害ボランティアネットワークとの情報交換・交流 ⑪ 近隣の災害ボランティアネットワークとの情報交換・交流
5 広報、啓発活動	⑫ 災ボラのホームページによる情報提供の充実 ⑭ 「海老名災ボラ・ネットワークだより」発行・自治会配布 ⑮ 海老名市及び関係団体主催イベント会場で啓発活動 ⑯ 小学生等への啓発活動 (えびなっ子スクール、福祉教室など) ⑰ 市や社協などが主催する各種講演会等に参加
6 その他、目的達成のため必要と認めら れる事項	⑱ 防災・減災活動関連各種情報の収集 ⑲ 大規模災害が発生した場合、被災者・被災地支援の諸活動 ⑳ その他

※ 総会、定例会、役員会(随時)、専門部会(必要に応じて)の開催

(第5号議案)

平成30年度 海老名災害ボランティアネットワーク予算(案)

(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)

(収入の部)

(単位：円)

科 目	H30年度予算(A)	前年度予算(B)	増減額 (B-A△減)	備 考
1 会費収入	82,000	82,000	0	
(個人会員)	50,000	50,000	0	2,000× 25 口
(賛助会員)	20,000	20,000	0	1,000× 20 口
(団体会員)	15,000	12,000	△ 3,000	3,000× 5 口
2 事業収入	10,000	20,000	10,000	福祉教室他
3 寄付収入	27,000	30,000	3,000	イオン幸せの 黄色いレシートキャンペーン他
4 雑収入	1,000	1,000	0	炊飯袋, 受取利子
5 前年度繰越金	227,195	187,004	△ 40,191	
合 計	350,195	320,004	△ 30,191	

(支出の部)

科 目	H30年度予算(A)		前年度予算(B)	増減額 (B-A△減)	備 考
	事業費	事務費			
1 事業費	150,000		150,000	0	各種講座 マニュアル整備
2 通信費		15,000	10,000	△ 5,000	はがき, 切手
3 事務費		20,000	15,000	△ 5,000	コピー代他
4 会議費		10,000	10,000	0	会場費
5 会費		20,000	20,000	0	県災ボラ, 海老名社協, 他
6 広報費	70,000		70,000	0	ホームページ, ネットワークだより
7 交通費		20,000	15,000	△ 5,000	各種会議などへの参加
8 予備費		45,195	30,004	△ 15,191	
小 計	220,000	130,195	220,000	100,004	△ 30,191
合 計	350,195		320,004		△ 30,191

災害救援活動費繰越金	58,000円
------------	---------

海老名災害ボランティアネットワーク備品一覧表

平成30年3月31日

No	品名	数量	単位	保管場所	
1	特定小電力トランシーバー	7	台	文化会館備蓄倉庫	EDVN購入
2	ポリバケツ	4	台	〃	EDVN購入
3	ブルーシート	5	個	〃	〃
4	寝袋	80	枚	〃	海老名市より
5	白ビニールゼッケン	20	個	〃	海老名市より
6	白ビニール腕章	18	着	〃	海老名市より
7	メッシュオレンジゼッケン	75	枚	〃	海老名市より
8	メッシュオレンジゼッケン	10	着	〃	EDVN購入
9	のぼり旗	5	着	〃	EDVN購入
10	プラスチックボックス	2	本	〃	震災事業より
11	延長コードリール	1	個	〃	〃
12	延長コード	3	個	〃	〃
13	アスパックシート	62	個	〃	海老名市より
14	折りたたみリヤカー	1	基	〃	H20年度海老名市より
15	三方幕(2間×3間)	2	枚	〃	H20年度海老名市より
16	ハンドマイク(軽量&防水)	2	基	〃	H20年度海老名市より
17	災害時車用マグネットシート	9	式	〃	H20年度海老名市より
18	テント(3mx6m)	2	基	〃	H21・22年度海老名市より
19	同上四方幕	2	枚	〃	H21・22年度海老名市より
20	特定小電力トランシーバー	4	式	〃	寄 贈(H23)
21	ヘルメット	17	式	〃	H23年度海老名市より
22	プラスチックボックス(パルックコンテナBL-22)	16	個	〃	EDVN購入(H22・23・25)
23	発電機	1	台	〃	H24年度海老名市より
24	バルーン投光器付発電機	1	台	〃	H25年度海老名市より
25	穴開けパンチ	4	台	〃	EDVN購入
26	カセットボンベ式卓上コンロ	1	台	〃	EDVN購入
27					
28					
29					
30					
31					
32					
33					
34					
35					
36					
37					
38					
39					
40					
41					
42					
43					

第17回定期総会の報告（議事録を含む）

開催日時：平成30年4月14日（土） 午後2時～午後4時

開催場所：海老名市総合福祉会館1階「元気ひろば」

ご来賓：海老名市長 内野優様
社会福祉協議会会長 河野誠一様
神奈川県議会議員 長田進治様

1. 開会の言葉 司会（水本晶子副代表）

2. 代表挨拶 橋本賢司代表：総会での十分な審議と建設的な議論を期待する。

3. 来賓挨拶

☆海老名市長 内野優様：

日頃の災ボラ活動に対し感謝と期待を表明。災害発災時の行政・民間・ボランティアの協力を要請。

☆海老名市社会協議福祉会会長 河野誠一様

日頃の災ボラ活動に対し感謝と期待、「ビッグレスキューかながわ」の成功を期待する。

社協事業について、介護保険事業の見直し、予防事業の実施、障害者への対応の充実を進めている。

☆神奈川県議会議員 長田進治様

「ビッグレスキューかながわ」今年は海老名で開催。県・政令市・市の協力・連携の重要性を述べる。

☆来賓紹介：海老名市理事兼市長室長 萩原恵一様、市長室次長 藤川浩幸様

海老名市市長室参事兼危機管理課長 野村孝善様、危機管理課長補佐 高田正道様

危機管理課の職員の皆様、社会福祉協議会の職員の皆様

☆祝電披露 衆議院議員 甘利明様

4. 司会より総会の成立を報告

・平成30年4月1日現在、会員総数43名、総会出席者20名、委任状提出18名 合計38名で、総会の成立を発表した。

・議長及び書記選出：立候補なし。

「司会一任」の声あり、司会より議長に石橋友晴（会員）、書記に佐々木茂（会員）を指名。

5. 議事（議事録の主要部分は議事に関する事です。議案書を参照）

議長 議事進行につき説明

○第1号議案 平成29年度事業報告（橋本代表より説明）、議案資料に基づき説明（詳細省略）

○第2号議案 平成29年度収支決算報告（三宅会計より説明）、議案資料に基づき説明（詳細省略）

会計監査報告（松本会計監査より、平成30年4月3日監査結果相違なき事を認めます。

議長一採決に入る。『拍手にて承認』。

○第3号議案 平成30年度役員選出（案）（橋本代表より議案書に基づき説明（詳細省略）

議長一。質問はありますか。質問・意見なし。採決に入る。

反対の方は挙手をしてください：なし。保留の方は挙手をしてください：なし。

「全会一致にて承認されました」と報告。

☆橋本前代表の退任挨拶：代表としての2年間の活動に対する会員の協力、社協・市の協力にも感謝の気持ちを表明した。新役員への期待を表明した。

☆福田新代表の新任挨拶

・2011年3月11日の東日本大震災を契機に海老名災ボラに入会した。同年4月以降、神奈川県に避難した被災者に寄り添う活動に参加し、被災者を受け入れる「地域社会」の実現が課題。これらの活動を通して「海老名災ボラの目的」の重要性を実感した。

- ・今後、会員の皆さんの協力を得るとともに、社協・危機管理課と連携し、役に立つ態勢の構築を図る。
- ・新役員の紹介（議案書を参照）

○第4号議案 平成30年度事業計画（案）（福田新代表より説明）

・議案資料に基づき、規約第2条及び規約第3条の内容を紹介・説明の上お互い助け合って活動できる体制を構築する。その上で、下記5点を重点的に進める。

- ①ビックレスキューかながわ（平成30年度神奈川県海老名市合同総合防災訓練）8月26日の成功災害救援ボランティアセンターの設置訓練の充実（運営マニュアル見直しと他団体との共有化）
- ②各自治会との協力：自治会の自主防災訓練への協力・支援。「自助」と「共助」の強化と連携
- ③会員拡大と組織の充実：コーディネーター養成講座などからの会員増を図る。
- ④広報活動の充実（ホームページ）から情報の共有
- ⑤小学生への啓蒙活動：現在、海老名災ボラへの小学校からの要請が少ないが、小学生向けのメニューを開発し、学校の防災教育の充実に役立ちたい。

・議長：質問はありますか。質問・意見なし。採決に入る。

反対の方は挙手をしてください：なし。保留の方は挙手をしてください：なし。

「全会一致にて承認されました」と報告。

○第5号議案 平成30年度予算（案）松井会計より説明：議案書で説明（詳細省略）

・議長：質問はありますか。質問・意見なし。採決に入る。

反対の方は挙手をしてください：なし。保留の方は挙手をしてください：なし。

「全会一致にて承認されました」と報告。

議長：全議案承認を報告。議長及び書記は解任。

6. その他 司会（水本副代表）より、その他の事項で何か、ありますか。特になし。

7. 閉会の言葉 司会（水本副代表）

以上

平成30年4月14日（土）

書記 佐々木茂